

## 第四回東アジア日本研究者協議会国際学術大会 プログラム

日付	2019/11/1 (金)
会場	福華文教会館 2階卓越堂
10:30-13:30	受付
13:30-14:00	開会式
14:00-15:00	基調講演(1)：新段階のアジア経済 名古屋大学名誉教授 平川 均氏
15:00-15:20	休憩
15:20-16:20	基調講演(2)：東アジアの宗教テキスト往還が生みだす文化遺産 —聖徳太子と大須文庫を焦点として— 名古屋大学高等研究院・龍谷大学教授 阿部 泰郎氏
16:20-17:00	特別講演：台湾における日本研究の現状と発展—文化的共同体への思索— 台湾・中国文化大学校長/東亞人文社会科学研究院院長 徐 興慶氏

分科会凡例	パネル	個人論文発表	次世代パネル	次世代論文発表	講演
-------	-----	--------	--------	---------	----

日付	2019/11/2 (土)				
会場	A(普通教学館201)	B(普通教学館202)	C(普通教学館204)	D(普通教学館205)	E(普通教学館301)
番号・分野	【A1】 東アジアにおける経済発展と国際分業	【B1】 アジアの高齢化問題・福祉問題	【C1】 東アジアにおける日本の位置の変容	【D1】 国民国家論以降の日本研究	【E1】 日本研究と日本語教育
分科会1 8:30-10:00	国際分業と日本企業のアジア進出 台中科技大学・日本研究センター 黎立仁	現代日本社会における世帯内「支え合い」の再検討： 若年女性を焦点に 若年女性の仕事と生活研究会 伊田久美子	日本資本主義の精神史 漢陽大学日本学国際比較研究所 李康民	ナショナルなものをめぐる政治言説 西南学院大学法学部 鶴飼健史	日本における実習から何を学んだのか —応用日本語学科の学生の場合— 台中科技大学応用日本語学科 邱学瑾
10:00-10:20	休憩				
番号・分野	【A2】 東アジアにおける政治と国際関係	【B2】 1. アジアの高齢化問題・福祉問題2. 東アジアにおける経済発展と国際分業3. 東アジアにおける日本の位置の乖離	【C2】 1. 2. 東アジアにおける人・物の移動と表象3. 東アジアにおける政治と国際関係	【D2】 1. 2. 国民国家論以降の日本研究 3. 東アジアにおける人・物の移動と表象	【E2】 日本研究と日本語教育
分科会2 10:20-11:50	東アジアにおける平和構築とエネルギー政策 福島大学 坂本恵	台湾における国民年金制度に関する研究 —納付対策を中心として— 衛生福利部社会保険司 申育誠	15世紀東アジアにおける漂流民と偽使問題 日文研 呉座勇一	うたごえ運動の展開過程とその影響 名古屋大学 河西秀哉	日本語ディベート国際大会は、東アジアの未来において どのような価値を有するか 日本語ディベート選手権国際大会実行委員会 上條純恵
	中国の経済報復： レアアースの対日輸出禁止措置 政治大学 楊雯婷	日系企業における国際人的資源管理に関する研究 —モンゴル国を事例に— ガルサンジグメド・エンフソル	東アジア的思考のためのモデルとしての 「東アジア安全共同体」 高麗大学 宋浣範	「国民国家論」後の日本研究 ～近年の国学研究の視点から～ (仮) 長栄大学 武知正晃	
	日本の対メコン地域経済協力の展開と実践： 連結性強化の視点から 政治大学 石原忠浩	日本人の国民性の一考察とベトナム人の近代課題 国家大学社会人文科学大学国際学部 グエン・チュ・ハン	ヴェルサイユ＝ワシントン体制期における「国民外交」 —1920年代「日本国際聯盟協会」の活動を中心に— 天理大学 長沢一恵	1930年代のモンゴル、ナショナリズムの諸相— 満州国の内モンゴル「知識人」の民族意識と思想 錫林郭勒職業学院 烏雲高娃	
11:50-13:00	昼休憩				
13:00-14:00	基調講演(3)：日本における教育の転換—アクティブラーニングの理解から探る教育の未来— 東京大学大学総合教育研究センター副センター長・准教授 栗田 佳代子氏 (会場：台湾大学文学院ホール)				
14:00-14:15	休憩				
番号・分野	【A3】 東アジアにおける経済発展と国際分業	【B3】 東アジアにおける歴史認識問題	【C3】 国民国家論以降の日本研究	【D3】 近現代日本の思想と社会変動	【E3】 日本研究と日本語教育
分科会3 14:15-15:45	台日政治経済協働におけるプラットフォームの構築 台湾・東海大学日本地域研究センター 陳永峰	交錯/脱臼する日本とアジアの「連帯」 —戦後日本の社会運動の差別意識を問う— 東京外国語大学 韓昇憲	前近代「日本」における共同体の想像 国立政治大学日本語文学系 永井隆之	戦間期日本の時代精神と社会変動 ソウル大学日本研究所 金 顯哲	校外インターンシップと 日本語教育の関係について 南栄科技大学 蕭玉燕
15:45-16:00	休憩				
番号・分野	【A4】 東アジアにおける経済発展と国際分業	【B4】 アジアの高齢化問題・福祉問題	【C4】 国民国家論以降の日本研究	【D4】 ポスト地域研究時代の日本研究	【E4】 日本研究と日本語教育
分科会4 16:00-17:30	日本型企业経営・経営革新と産業発展 台中科技大学・日本研究センター 黎立仁	「後発性」が福祉政治のメカニズムに与える影響分析 —日韓比較を中心に— 神戸大学 ベ ジュンソブ	近代日本における政治秩序の研究 —「合議」と「意思決定」の歴史的展開— プロジェクト 「近代日本の政治的「合議」に関する総合的研究」 伊故海貴則	ポスト「平成」を考える ソウル大学日本研究所 金 顯哲	治療内容決定過程にみられる日韓の医師のストラテジー —ドラマ資料にみる治療提案に対する患者の非肯定的な 反応後を中心に— 高麗大学 孫朱彦
		「介護保険サービスから高齢者の「核家族化」への影響— 農村地における要介護者自身の決断に着目—」 広島大学 何妨容			第二言語としての日本語の聴解における 情報の知覚と処理 広島大学 李静宜
					ブログを利用する韓国語日本語学習者のビリーフ研究 —学習スタイルを中心に— 高麗大学 徐ユリ

日付	2019/11/2 (土)				
会場	F (普通教学館302)	G (普通教学館303)	H (普通教学館304)	I (普通教学館305)	J (普通教学館306)
番号・分野	【F1】 AIと日本語教育	【G1】 日本研究と日本語教育	【H1】 東アジアにおける日本語研究の諸問題	【I1】 東アジアにおける日本語研究の諸問題	【J1】 帝国日本の支配と植民地社会の変容
分科会1 8:30-10:00	AIと村上春樹研究 淡江大学村上春樹研究センター 曾秋桂	話しことばにおける台湾人上級日本語学習者の 伝達能力についての考察 東呉大学 陳美玲	日本語から見た日本文化の諸相 東北大学国際文化研究科 小野尚之	韓国人中級日本語学習者における日本語漢字単語の視覚的認 知—読み上げ課題を用いた実験的検討— 広島大学 柳本大地	近代日本におけるデモクラシーと開発： 政治と知識の作動から考える 慶應義塾大学日本研究プラットフォーム・ラボ 清水唯一朗
日本語パートナーズの支援活動の試み —挨拶語の活動を例に— 開南大学 陳姿菁		「達人」からみた台湾の中国語における外来語の受容 中国文化大学 鍾季儒			
聴解授業における字幕使用の学習効果に関する初検証 銘傳大学 吳如惠		西洋人による基本漢字集合の比較研究 神戸女子大学 岡崎裕剛			
10:00-10:20	休憩				
番号・分野	【F2】 日本研究と日本語教育	【G2】 日本研究と日本語教育		【I2】 東アジアの中の明治維新	【J2】 帝国日本の支配と植民地社会の変容
分科会2 10:20-11:50	日本語人材を育てるための 日本語教育をめぐる諸問題 台湾南部日文系有志会 神作晋一	日本研究者を目指す日本語学習者に対する日本語教育 —「羅生門」の授業を参考に— アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 結城佐織		植村正久における明治期天皇制イデオロギー 中華大学 簡曉花	美談の裏側：日本統治下台湾における 「新しい日本人」像をめぐる 日本統治下台湾美談研究会 黄幼欣
日本語教育における反転授業の導入 中国文化大学 陳毓敏		旧長崎唐通事集団の明治維新 西安交通大学 楊柳			
中国における日本語「特訓班」の実践活動と成果報告—300人 規模大人数アプローチ教授法の可能性— 湖南大学 瀨口誠		明治維新とふたつの陽明学 —佐久間象山・西周・井上哲次郎— 日文研 山村奨			
11:50-13:00	昼休憩				
13:00-14:00	基調講演(3)：日本における教育の転換—アクティブラーニングの理解から探る教育の未来— 東京大学大学総合教育研究センター副センター長・准教授 栗田 佳代子氏 (会場：台湾大学文學院ホール)				
14:00-14:15	休憩				
番号・分野	【F3】 日本研究と日本語教育	【G3】 日本研究と日本語教育	【H3】 日本研究と日本語教育	【I3】 1. 2. 帝国日本の支配と植民地社会の変容 3. 東アジアにおける政治と国際関係	【J3】 帝国日本の支配と植民地社会の変容
分科会3 14:15-15:45	日本語教育と複合アイデンティティをめぐる —事例を中心に— 台湾応用言語学会 葉淑華	大学日本語教育におけるキャブストーン的位置づけ —東呉大学「總結日本語文」：言語と文化の場合— 東呉大学日本語文学系 賴錦雀	日本における女性ムスリムの現状、 留学中に直面する課題と彼女らの挑戦 公益財団法人渥美国際交流財団 沈雨香	大正期における帝国日本の南進と台湾統治政策 —梅谷光貞の南洋植民地視察復命書を主として— 中国文化大学 黄美惠	帝国の周縁の女： 台湾と満洲の女性表象から現代日本を見る 三重大学 劉靈均
植民地朝鮮における公衆衛生学の形成 日文研 松田利彦					
占領期日本の映像メディアにおいて朝鮮戦争報道はどう描か れたか：CIE・USIS映画とニュース映画の分析を中心に 東京工芸大学 丁智恵					
15:45-16:00	休憩				
番号・分野	【F4】 1. 2. 東アジアにおける日本語研究の諸問題 3. AIと日本語教育	【G4】 日本研究と日本語教育	【H4】 日本研究と日本語教育	【I4】 帝国日本の支配と植民地社会の変容	【J4】 帝国日本の支配と植民地社会の変容
分科会4 16:00-17:30	コーパスで見る語彙拡張への考察 —日本語「干す・晒す」を中心に— 国立高雄科技大学 黄愛玲	大学日本語教育におけるキャブストーン的位置づけ —東呉大学「總結日本語文」：日本語総合運用力の場 合— 東呉大学日本語文学系 羅濟立	新技術や新アプローチを取り入れた日本語教育の可能性 中国文化大学日本語文学系 陳順益	戦時期帝国日本の空間と移動 —植民地・東アジアを範囲として— 東北大学大学院文学研究科 安達宏昭	満州国軍における民族政策・ 実態およびコレボレーション問題 九州大学 鄧雁南
	ノダの構文化とモダリティ性についての試論 —認知構文論の視点から— 北京外国語大学 劉全榮				韓国における言語・教育政策からみた 経済発展と近代化 拓殖大学 李松
	AIと日本語教育—川柳を中国語に訳す場合— 淡江大学 彭春陽				近代日本の対中国文化外交—東方文化事業 における研究助成事業を中心に 東北大学 簡冠釗

日付	2019/11/2 (土)				
会場	K (普通教学館401)	L (普通教学館402)	M (普通教学館403)	N (普通教学館404)	O (普通教学館405)
番号・分野	【K1】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【L1】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【M1】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【N1】 東アジアにおける政治と国際関係	【O1】 東アジアにおける政治と国際関係
分科会1 8:30-10:00	東アジアにおける文化遺産と帝国日本の記憶 翰林大学日本学研究所 徐禎完	日中関係史と中国人留学生の活動 —移動、組織、活動— 神奈川大学 孫安石	日本における移民・移住の実証的社会科学 東京大学社会科学研究所附属社会調査・ データアーカイブ研究センター 三輪哲	日本の安倍長期政権と日本社会を 取り巻く内外の変化及び行方 国立外交院日本研究センター 曹良鉉	第一次世界大戦期の東アジアにおける 捕虜・抑留者処遇問題 京都大学 奈良岡聰智
10:00-10:20	休憩				
番号・分野	【K2】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【L2】 1. 東アジアに再び共同する新たな文化の形成2. 日本研究と日本語教育3. 東アジアにおける人・物の移動と表象	【M2】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【N2】 1. 東アジアにおける思想交流史 2. 3. 東アジアにおける政治と国際関係	【O2】 東アジアにおける政治と国際関係
分科会2 10:20-11:50	東アジアの中の日本観光の魅力 東アジア観光・文化研究会 古屋秀樹	東アジアにおける日本のアニメーション 関西大学 大島薫	明治期キリシタン版画にみる中国と日本の文化表象 日文研 白石恵理	明治・大正期の日本における「資本主義」概念の形成 と変容—ヴェルナー・ゾンバルトの影響を手がかりに— ドイツ日本研究所 周雨霏	回顧日本明治大正昭和的中日関係 政治大学 于乃明
		漫画とアニメにおける日本のストリートダンス文化考察： 『サムライチャンプルー』と『TOKYO TRIBE 2』を例として 神戸大学 黄柏瀧	19世紀西洋新聞における台湾の図像記事について 廈門理工学院 陳其松	1910~20年代日本の対中外交と実業界 —中国関税改定問題をめぐって— 京都大学 藤井崇史	対英交渉期（1879—1883年）における森有礼の外交戦 略—「脱亜」言説の出現に注目して— 同志社大学 齊藤大輔
		3. 11東日本大震災のドキュメンタリーにおけるエスニック・ マイノリティを巡って言説と表象 —映画『すくそばにいたTOMODACHI』を視座として— 東北大学 鄭知硯	日本学者エリセーエフの台湾報告に見る「日本」 中国文化大学 塚本善也	前近代日本における天皇の特質 日文研 倉本一宏	
11:50-13:00	昼休憩				
13:00-14:00	基調講演(3)：日本における教育の転換—アクティブラーニングの理解から探る教育の未来— 東京大学大学総合教育研究センター長・准教授 栗田 佳代子氏 (会場：台湾大学文学院ホール)				
14:00-14:15	休憩				
番号・分野	【K3】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【L3】 1. 2. 東アジアにおける思想交流史 3. 東アジアにおける人・物の移動と表象	【M3】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【N3】 東アジアにおける政治と国際関係	【O3】 東アジアにおける政治と国際関係
分科会3 14:15-15:45	琉球・沖縄の染織物の諸相について 沖縄県立芸術大学附属研究所 久貝典子	室伏高信の農民・農村観—三沢村時代を中心に— 同志社大学 望月詩史	近代日本の知の射程 —学際的視点からみた南方熊楠— 中部大学 岡本聡	日本のODAとアジア：再評価の試み 公益財団法人渥美国際交流財団 李恩民	琉球列島米国民政府 (USCAR) 製作テレビ番組からみる 米琉日関係 京都大学 貴志俊彦
		武士道における日本文化の特殊性 中国文化大学 林孟蓉			
		大岡昇平と戦跡慰問 —「ミンドロ島ふたたび」に関する一考察— 大阪大学 林姿瑩			
15:45-16:00	休憩				
番号・分野	【K4】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【L4】 1. 東アジアにおける諸宗教の交流 2. 近世武家社会の研究 3. 日本文学	【M4】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【N4】 東アジアにおける政治と国際関係	【O4】 東アジアにおける政治と国際関係
分科会4 16:00-17:30	台湾に見られるランドスケープのデザイン の変容について 中国文化大学 郭維倫	日本における唐代の術数文化の受容と変化 —『大唐陰陽書』と『四時纂要』との比較を中心に— 名古屋大学 李錚	日本の中世近世香文化の実相について—芳香剤「薫物（たき もの）」の秘められた歴史をひもとく— 広島大学研究企画室研究員 田中圭子	台湾海峡情勢の相対的安定化と日米の冷戦期台湾政策 政治大学 前田直樹	日清修好条規と領事裁判の仕組み 神戸大学 川口ひとみ
		近世後期大名の身分構造 —大名の比較研究を通して— 武蔵野学院大学 梁媛淋	芸術の旅： ローレンス・ビニョンの1929年の訪日と訪中について 愛知大学 范麗雅	植民地時代の台湾における日本語教育が国語教育であったこ との背景—当時のアジア情勢に焦点を当てて— 中華大学 宮地映史	近代日本の南進政策—第1次世界大戦期を中心に— 京都大学 久保田裕次
			内藤湖南と廉泉との交友関係について —民国初期日中美術交流の一側面— 東北大学 朱琳		犬養毅の対外論 神戸大学 久野洋

日付	2019/11/2 (土)				
会場	P (普通教学館406)	Q (普通教学館501)	R (普通教学館502)	S (普通教学館503)	T (普通教学館504)
番号・分野	【P1】「世界文学」の中の日本文学	【Q1】1.国際社会、日本、女性運動 2.3東アジアにおける人・物の移動と表象	【R1】東アジアにおける思想交流史	【S1】東アジアにおける思想交流史	【T1】東アジアにおける思想交流史
分科会1 8:30-10:00	散文から詩体へーバジル・バンティング作 “Chomei at Toyama”と世界文学として『方丈記』について 日文研 プラダン ゴウランガ チャラン	戦後日本の女性運動史を「国際化」する ～国連と関わった女性たちの経験から考える～ 関西外国語大学 小阪裕城	宋代中日佛教文化交流 中国文化大学 涂玉璽	日本伝統文化の歴史と展望：諸学諸芸と諸行事の 〈これまで〉と〈これから〉を考える 広島大学 田中圭子	1930年代における東アジア女性雑誌の比較研究 名古屋大学 星野幸代
	〈近親愛小説〉における「世界文学」の中の「日本文学」 —川上弘美『水声』をメインターゲットとして— 中国文化大学 齋藤正志	2010年代のテレビドラマにおける戦争描写と女性像 —NHKの朝ドラと民放の終戦ドラマとの比較から— 中国文化大学 黄馨儀			
	廃れたものを表象する —芥川龍之介「蜃気楼」 北海道大学 高啓蒙	「何日君再来」と日本 関西学院大学 西村正男			
10:00-10:20	休憩				
番号・分野	【P2】「世界文学」の中の日本文学	【Q2】1.2.東アジアにおける人・物の移動と表象 3.東アジアにおける諸宗教の交流	【R2】東アジアにおける諸宗教の交流	【S2】東アジアにおける思想交流史	【T2】東アジアにおける思想交流史
分科会2 10:20-11:50	明治期の小説と口絵・挿絵—絵の役割— 公益財団法人渥美国際交流財団 梁蘊嫻	観光地のイメージ形成過程 —名所案内記からの検討— 弘前大学 郡千寿子	宋元代中国における日本僧の留学規模 日文研 櫻本渉	日本研究における人文学の課題を考える 国立台湾大学日本研究センター 林立萍	「生命」の横断— 東アジアにおける「生の哲学」の受容と変容 東アジア生命思想研究会 金泰鎮
		台日間の国際スポーツツーリズム —台湾・佳楽水と日本人サーファー— 静宜大学 葛西洋三	魚木忠一のキリスト教類型論についての一考察： その来歴と「比較」の視座をめぐって 日文研 藤本憲正		
			宋代の珠江デルタ地域における 媽祖信仰と南海神信仰の交渉 大阪市立大学 張振康		
11:50-13:00	昼休憩				
13:00-14:00	基調講演(3)：日本における教育の転換—アクティブラーニングの理解から探る教育の未来— 東京大学大学総合教育研究センター副センター長・准教授 栗田 佳代子氏 (会場：台湾大学文學院ホール)				
14:00-14:15	休憩				
番号・分野	【P3】「世界文学」の中の日本文学	【Q3】東アジアにおける諸宗教の交流	【R3】東アジアにおける諸宗教の交流	【S3】東アジアにおける思想交流史	【T3】東アジアにおける思想交流史
分科会3 14:15-15:45	国宝『信貴山縁起絵巻』第一巻 「山崎長者巻」に関する一考察 関西大学 大西春香	近代日本の日蓮主義における信仰とプラクティス 東北大学大学院国際文化研究科 ゴダール・ジェラルド・クリントン	アジア交流史の視座に基づく 聖徳太子信仰の古代と中世 名古屋大学人文学研究科 人類文化遺産テキスト学術研究センター 近本謙介	グローバルスタディーズの潮流における 漢学研究の意義 —近世近代の台湾を例として— 二松学舎大学 町泉寿郎	日本中世村校における中国文化の受容 関西大学 陳路
	豊臣政権の史書編纂 —『天正記』の位置付けとその構成をめぐって— 北海道大学 竹内洪介				『論語徴』の清代中国受容の一考察 —呉英の『有竹石野経句説』を中心に— 東京大学 蔣薫誼
	日本プレカリアート運動と文学研究 高麗大学 李貞和				荻生徂徠における「仁」の様態 広東外語外貿大学 曾貴軍
15:45-16:00	休憩				
番号・分野	【P4】東アジアにおける諸宗教の交流	【Q4】東アジアにおける諸宗教の交流	【R4】東アジアにおける諸宗教の交流	【S4】1.2.東アジアにおける思想交流史 3.東アジアにおける諸宗教の交流	【T4】東アジアにおける思想交流史
分科会4 16:00-17:30	熊野信仰における女人往生譚の形成 関西大学 小川路世	東アジアにおける三教思想 —日中三教思想の比較をめぐって— 総合研究大学院大学 宋琦	中世密教の宗教テキストの展開—覚鑿を中心に— 名古屋大学人文学研究科 人類文化遺産テキスト学術研究センター 阿部泰郎	17世紀渡日明知識人をめぐる思想交流 —小宅生順『西遊手録』を手掛かりに— 立命館大学 黄薇姍	留学時代の周作人の女性観に関する一考察 —『天義報』とのつながりを中心に— 東北大学 張蕊
	日本における赤山明神の変遷 関西大学 朱紅軍	朝鮮半島における道教内丹術の展開 —鄭謙の内丹思想を中心に— 関西大学 劉洋		隠元の禅学解釈に関する一考察 —後水尾法皇との書簡を例として— 名古屋大学 楊慶慶	近代日本における「同性愛」の浮上— 交錯する女同士の親密な関係 名古屋大学 鄒韻
				陳元賞・元政往復書翰の研究 —瑞光寺蔵『芝山尺牘』の一考察— 名古屋大学 李麗	アジアという言葉からみる日本の自他認識の 展開—雑誌『太陽』におけるアジア言説を中心に— 東北大学 楽星

日付	2019/11/2 (土)				
会場	U (普通教学館505)	V (文学院16教室)	W (文学院17教室)	X (文学院18教室)	Y (文学院19教室)
番号・分野					
分科会1 8:30-10:00					
10:00-10:20	休憩				
番号・分野	【U2】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【V2】 東アジアにおける日本の位置の変容	【W2】 東アジアにおける日本語研究の諸問題	【X2】 東アジアにおける経済発展と国際分業	【Y2】 1. 2. 東アジアにおける人・物の移動と表象 3. 東アジアにおける日本の位置の変容
分科会2 10:20-11:50	茶道流派・遠州流の形成—『辛酉紀行』の役割— 関西大学 藤原みずき	情報メディア時代における政府広報 イメージ戦略の日中比較 中国人民大学 劉文郡	漢籍訓読資料における日本漢字音の諸問題 —東京大学国語研究室蔵『白氏文集』巻四を例に— 北海道大学 鄭門鎬	台湾の南向政策・新南向政策における日台企業 拓殖大学 洪博文	ナショナリズムへの眼差し— 1930年代の日本写真における身体と国家意識 筑波大学 黄士誠
	江戸時代中後期における『傷寒論』の受容 —流行病に注目して— 立命館大学 向静静	不安と批判：清末洋務派における 日本近代化への二つの理解の傾向 清華大学 韓前偉	日本における『類合』の字訓研究 —京都大学本を中心に— 京都大学 楊慧京	日本マス・コミュニケーション研究の特徴と趨勢 ～『マス・コミュニケーション研究』学会誌に関する内容分 析から～ 中国人民大学 雷紫雯	豊島与志雄の台湾旅行とその周辺 京都大学 呉若彤
	18世紀における独日の満洲語研究と国際的な知識交流 —ゲルハルト・ミュラーと高橋景保を中心に— コロンビア大学 孔令偉	自由主義的アジア主義： 犬養毅と孫文の日中提携論と辛亥革命 京都大学 呉舒平	日本古辞書の漢字字体に関する 出典研究への新視点 北海道大学 張馨方		自由美術家協会の活動に見る日本美術界の戦後認識 東京大学 鎌谷伶
11:50-13:00	昼休憩				
13:00-14:00	基調講演(3)：日本における教育の転換—アクティブラーニングの理解から探る教育の未来— 東京大学大学総合教育研究センター副センター長・准教授 栗田 佳代子氏 (会場：台湾大学文學院ホール)				
14:00-14:15	休憩				
番号・分野	【U3】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【V3】 東アジアの中の明治維新	【W3】 日本研究と日本語教育	【X3】 東アジアにおける政治と国際関係	【Y3】 東アジアにおける政治と国際関係
分科会3 14:15-15:45	清末の『女子世界』から見る明治日本女性雑誌の影響 —『女学世界』を中心に— 東北大学 楊妍	「憲法草稿評林」と明治の憲法思想 立命館大学 路剣虹	留学生と日本人チューターの学習活動における言葉の 説明の実践：会話分析の観点からの一考察 大阪大学 李頌雅	西南省三の中国に対する認識 南開大学 陳凌函	中日両国の排他的経済水域(EEZ)制度と 東中国海の海洋紛争に関する研究 高麗大学 蔡捷
	一九〇〇年代中国に渡った日本人女性教習の中国女子学生観 —日本人女性教習の叙述を手掛かりに— 名古屋大学 薛梅	来日中国人の文書から見える明治維新時代の文学とその 影響—日本所蔵資料に基づく— 日文研 李杰玲	日中数量類別詞の範疇化機能の対照研究 北京外国語大学 李月明	1930年代の日中「経済提携」論 早稲田大学 矢野真太郎	国交正常化(1925)前後における 日ソ文化交渉の進展 総合研究大学院大学 吉川弘晃
	『女学生旅行記』における女学生描写 —その「近代」認識を中心に— 名古屋大学 呂輝菲	有隣舎とその漢学教育について 華東師範大学 陳文佳			神功皇后三韓出兵譚と元の日本出兵 —中世日本における異国をめぐる言説— 北海道大学 間枝遠太郎
15:45-16:00	休憩				
番号・分野	【U4】 東アジアにおける人・物の移動と表象	【V4】 1. 東アジアにおける歴史認識問題	【W4】 1. 2. 日本研究と日本語教育	【X4】 東アジアにおける政治と国際関係	【Y4】 1. 2. 東アジアにおける政治と国際関係 3. 東アジアにおける日本の位置の変容
分科会4 16:00-17:30	「満洲」開拓地に注いだ眼差し —山田清三郎の『私の開拓地手記』 総合研究大学院大学 高燕文	石母田正の「民族」観 —英雄時代論と共同体の再編成に関連して— 明治大学 王増芳	日本語の行為要求表現における男女差 —依頼・勧誘表現を中心に— 高麗大学 金智媛	日本における「開発援助」方式の変容 —「反応国家」モデルと国際規範への適応— 東京大学 徐博晨	近代日本の対外政策と通信利権 —在外郵便電信局を中心に— 大阪大学 望月みわ
	明治初期の米国史の翻訳からみる「植民地」認識 —岡千仞の『米利堅志』を中心に— 東北大学 閻秋君	家永三郎研究の今後の課題 大阪電気通信大学 小田直寿	日本語学習としての絵本の創作活動をめぐる一考察 蔚山大学校 小松麻美	国民政府内の知日派と対日戦後処理問題 早稲田大学 周忠慧	華夷秩序の冊封国に対する明治日本の併合政策 —大韓帝国皇族と琉球王族の日本編入を中心に— 早稲田大学 曹綺婧
				北東アジアにおける非対称的能力に対する武装 —日本の武器取得と韓国・台湾との比較— ソウル大学 趙慧娟	NHKの「グローバル・コミュニケーション戦略」 と文化の現地化に関する考察 中国人民大学 温婧

日付	2019/11/3(日)			
会場	V (文学院16教室)	W (文学院17教室)	X (文学院18教室)	Y (文学院19教室)
番号・分野	【V5】 東アジアにおける思想交流史	【W5】 帝国日本の支配と植民地社会の変容	【X5】 アジアの高齢化問題・福祉問題	【Y5】 東アジアにおける歴史認識問題
分科会5 9:00-10:30	東アジア文化交流の中の知識構築 台湾大学歴史学研究所 李志鴻	植民地台湾における伝統秩序と近代 政治大学 松葉隼	日本社会における「男性性」のゆらぎ 「男性性のゆらぎ」研究プロジェクト 伊藤公雄	近現代日本外交と東アジアの知識人 早稲田大学 タンシンマンコン・パッタジット
10:30-10:50	休憩			
10:50-11:50	基調講演(4)：デジタルアーカイブの進化と歴史研究の行方 アジア歴史資料センター長 波多野 澄雄氏 (会場：台湾大学文学院ホール)			
11:50-12:20	閉会式			